

科学や技術、工学、芸術、数学を横断的に学び課題解決力を養う「STEAM(スチーム)教育」を推進するイベント「STEAMツアー」が24日、関市若草通のアテナ工業アリーナで始まった。市内の子どもたちがプログラミングによる小型ドローンの飛行などを体験した。25日まで。(高橋友基)

関市でSTEAMツアー、子どもが体験

ドローン飛ばし課題解決

市教育委員会の学校教育 間で市内の小中学生約80人 育用コンピューター「マイ夢プランの事業の一環で、が参加する。3、4人のチクロビット」のプログラミング昨年度に続き2回目。2日 ームを組み、ドローン、教ング、理科算数(数学)問

遭難者救出想定 ルートをプログラミング



小型ドローンの飛行を体験する参加者＝関市若草通、アテナ工業アリーナ

題の各競技に挑んだ。
ドローンの飛行では、タブレット端末で飛行経路のプログラミングを行い、遭難者を救出する想定で実際に飛ばし、障害物を避けながらゴールする時間などを競った。子どもたちはチームで協力し合い、試行錯誤の末にドローンがゴールすると歓声を上げた。

ROBOZ(ロボッツ、恵那市)による30機のドローンが光や音楽に合わせて飛行するデモンストレーションもあった。

富岡小学校6年の羽田野碧人さんは「ドローンの飛行では達成感を得られた。みんなで協力することが大事だと感じた」と話した。